

平成 29 年度の医療ツーリズム推進に係る取組状況について

資料 1

1 あいち医療ツーリズム推進協議会の開催

関係者間の連携促進を図りながら、医療ツーリズムの推進に向けた具体的な取組について引き続き協議した。

(1) 第 1 回：平成 29 年 7 月 11 日

○平成 29 年度の医療ツーリズム推進に関する取組について

○県内での取組状況について

(2) 第 2 回：平成 30 年 2 月 13 日（本日）

2 シンポジウムの開催【別添 1】

医療ツーリズム推進に向けた課題の解決策や具体的な取組についての先進事例を発表するシンポジウムを開催し、医療機関において外国人患者受入れが円滑になるよう支援するとともに、県内の医療ツーリズム推進の機運を高めた。

(1) 日 時 平成 29 年 10 月 29 日（日）午後 1 時から午後 4 時まで

(2) 会 場 ウィルあいち 3 階 大会議室（名古屋市東区）

(3) 参加者 医療機関の関係者等（100 名程度）

(4) 内容等

ア 講演：「医療ツーリズムの拠点へ：愛知が持つ力」

東京大学医学部附属病院 国際診療部 副部長 山田秀臣 氏

イ 事例報告

多摩大学大学院 教授 真野俊樹 氏

藤田保健衛生大学 学長 星長清隆 氏

医療法人偕行会 病院医療事業部 国際医療部 部長 高橋忍 氏

ウ パネルディスカッション：「愛知の医療ツーリズムの推進に向けて」

○コーディネーター

多摩大学大学院 教授 真野俊樹 氏

公益社団法人愛知県医師会 会長 柵木充明 氏

○パネリスト

東京大学医学部附属病院 国際診療部 副部長 山田秀臣 氏

藤田保健衛生大学 学長 星長清隆 氏

医療法人偕行会 理事長 川原弘久 氏

3 国際医療コーディネーターの育成【別添 2】

医療機関において外国人患者の受診環境整備や患者・家族及び医療スタッフの支援を行うコーディネーター業務を担当する人材や、外国人患者に対して治療費の支払い代行、通訳派遣、その他患者受入れに関わる一連のサービスを提供できる人材を育成するため、研修を実施した。（県としての修了認定は行わない）

(1) 日 時 平成 29 年 12 月 14 日（木）午後 1 時から午後 6 時まで

(2) 会 場 ウィンクあいち 1204 室（名古屋市中村区）

(3) 参加者 医療機関の職員等（30 名程度）

(4) 委託先 一般社団法人中部メディカルトラベル協会

4 医療機関向けアンケートの実施【別添 3】

医療ツーリズムの現状及び推進にあたっての課題について、前回（昨年度）の調査以降の変化等を明らかにするため、「外国人患者の受入れ状況に関するアンケート」を実施した。

(1) 時 期 平成 29 年 8 月

(2) 対 象 県内の全病院（323 病院）

(3) 回収率 57.9%（187 病院から回答）

(4) その他 新規受入れを行った一部の病院へは訪問して聴取

5 その他

(1) 国家戦略特区による規制緩和に向けた動き【別添 4】

平成 29 年 5 月 国家戦略特別区域会議合同会議での検討

9 月 ”

10 月 内閣府へ追加資料提出

(2) 報道【別添 5】

平成 29 年 4 月 21 日 時事通信社（iJAMP）

5 月 23 日 朝日新聞（朝刊）

12 月 6 日 日経新聞（朝刊）